

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度			
事業番号	31	事業名	歴史民俗体験施設整備事業 (大事業名) 文化・文化財事業		担当課		生涯学習課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-6-3 歴史民俗体験施設整備事業			
					決算書ページ		237	～ 238	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		事業開始の背景	江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古級の古民家を活用し、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設の附帯施設として、古戦場公園に整備します。			
		政策	1	まちの資源を生かした市民同士の交流の促進						
		施策	(1)	歴史の次世代への継承						市民・民間事業者との連携協働の可能性
	その他	開始年度		平成29年度						
		終了予定年度		☒ 令和7年度 ☐ 未定						
		根拠法令等		文化財保護法、都市公園法						
	関連計画		古戦場公園再整備基本計画							
	アウトプット（詳細はⅡへ）					アウトカム（詳細はⅢへ）				
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)		
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000 【事業内容】 江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古級の古民家を活用し、この地域のくらしや歴史民俗文化を後世に伝えるため、歴史民俗資料館の附帯施設として、古戦場公園に移築する。		【アクションプラン指標】 整備する古民家の棟数 【その他の指標】		移築後の古民家で、長久手のくらしぶりや歴史民俗文化の体験、継承活動を支援する市民の増加。 (成果指標名) 移築後の古民家で、主体的に活動してくれる市民の延べ人数		大 事 業 共 通 かつての長久手のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承する古民家や歴史民俗資料館を活用して、体験活動や継承活動を市民が主体で行うようになる。		

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	
		1	【アクションプラン事業】 整備する古民家の棟数	-	基準値	-	見込	-	-	-	-	-	
					目標値	-	実績	-					
		2			基準値		見込						
					目標値		実績						
		3			基準値		見込						
					目標値		実績						
		4			基準値		見込						
					目標値		実績						
		事業開始からの経緯											
		平成28年度古戦場公園再整備基本計画策定以来、古民家の移築に向けて、市民ワークショップや古民家の補修を行ってきた。令和4年度に解体・移築設計業務を行い、令和5年度に古民家の解体を予定し、令和6年度末の供用開始を目指している。施設の運営を担うことができる市民を今後もワークショップ等を通じて増やしていく必要がある。											
		R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	・古民家移築に関する市民ワークショップを3回開催し、延べ76人が参加した。 ・古民家等解体工事を発注したが、古民家移築事業の必要性を検討するのに時間を要し、工事を実施できなかったため、令和5年度予算を令和6年度に繰り越した。												
エピソード													

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		移築後の古民家で、主体的に活動してくれる市民の延べ人数		人	H29 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R6 年度		R7 年度		
					-		106		76		-		-		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					教育委員会の中で、歴史民俗資料館の附帯施設である古民家の移築方針を決定することから、令和6年度以降のワークショップ開催の有無が不透明であるため。							
			評価の理由、分析												
			古民家移築事業の必要性を検討するのに時間を要し、工事を実施できなかったことにより、予定していたワークショップが開催できず、目標以上の参加人数に達することができなかったため。												
加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）			6											
	A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		古民家移築を始めとする歴史民俗体験施設整備事業を進めるにあたり、寄付をいただいた長久手中央土地区画整理組合を始めとする多くの市民から魅力的で素晴らしい施設を整備して欲しいとの御意見に応えるため、工事を確実に進捗させるとともに、供用開始に向けて、主体的に活動してくれる市民を増やすため、引き続き、市民ワークショップを開催して、情報発信に努める。											
	改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														
	見直しの余地のある取組名			見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度		
	1		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
	2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止													

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7（2025）年度の費用（前年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)	R6年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度			
		B	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算		
			C. 縮小 D. 廃止			9,533	28,765	73	3,718	3,683		
		理由			特定財源	合計額	9,533	28,765	0	0	0	
		歴史民俗資料館の施設整備に関わる工事を令和7年度に実施するため。 また、教育委員会の中で、その附帯施設である古民家の移築方針を決定する。				(内 国費)	0	0	0	0	0	
						(内 県費)	0	0	0	0	0	
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
						(内 その他)	0	20,000	0	0	0	
		積算額			一般財源		9,533	8,765	73	3,718	3,683	
		未定			R6年度予算の内訳 <細々節名、R6予算額、（R5予算額）>							
					消耗品費 408千円（118千円） 食糧費 20千円（20千円） 賄材料費 30千円（30千円） 展示設計委託 5,830千円（0千円） 歴史民俗資料館基本設計業務委託 0千円（3,960千円） 歴史民俗資料館実施設計業務委託 3,245千円（0千円） 古民家建築工事監理業務委託 0千円（7,469千円） 古民家等解体工事 0千円（15,620千円） 古戦場公園西側ゾーン砂利駐車場工事 0千円（570千円） 古戦場公園西側ゾーン造成工事 0千円（978千円） 古民家建築工事 0千円（0千円）							